

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

複式引線機 (10年特許公告、第4,957號、公告10-11-25、東京市、フルター、フリッケ) 引線工程中に於ける針金線の切斷等を防止すると同時に引線溶液の聯動機内に浸入して之を損傷することを防止するを得べき完全且確實に作動する複式引線機を得んとする目的を以て、引線液槽を聯動機筐より完全に分離せる機械部分として構成し且つ該聯動機筐上に之と引線液槽との間に適宜中間室を存在せしむる如く載置し引線工程を引線液内にて行ひ聯動機を底部上に突設せる管狀突出部を有する引線液槽の下方に在らしめ該突出部を引線液面より突出せしめ且引線軸をして自由に而も填隙料を介する事なく前記突出部を貫通せしむる複式引線機。

鋼の脱磷方法 (10年特許公告、第4,969號、公告10-11-25、佛國、ソシエテ、デレクトロシミー、デレクトロメタリユルジー、エ、デザシエリ、エレクトリック・デュジース) 鋼の磷含有量を簡單迅速確實且經濟的に低下して優秀なる鋼を製造せんとする目的を以て、高温度にて熔融せらるゝ時甚だ流動性に富む鹽基性酸化鐵滓を熔融状態に保持し脱磷せんとする熔鋼の猛烈なる流下勢力に依り該熔融鐵滓を微塵に粉碎し鋼と鐵滓とのエマルジョン混合態を生成せしむる事を特徴とする鋼の脱磷方法。

熔接に際し熔接部分を保護防蝕する方法 (10年特許公告、第4,989號、公告10-11-27、東京市、江澤謙次郎) 従來の單一噴射鍍金法に於て熔接部分に惹起せられたる重大なる缺點を刈除し最も有効に簡易且つ確實なる熔接部分の防蝕層を得んとする目的を以て、噴射鍍金法により Al 或は Al 基合金を以て第一鍍金層を形成し又防蝕性金屬例へば Zn, Sb, Pb 等を以て第二鍍金層を形成し熔接部分に於ける第二鍍金層が高温加熱作用に依り溶解又は剝離せる場合に第一鍍金層の酸化作用に依りて形成せられたる被覆層により熔接體の腐蝕を防止し得べくなせる熔接に際し熔接部分を保護防蝕する方法。

金屬管に鉛、錫又は其の合金の裏付方法 (10年特許公告、第5,023號、公告10-11-29、東京市、松井武雄) 簡易なる操作に依り被加工物と裏付材との間に鑛を充満せしめて氣泡を無からしめ次で極度に薄き裏付材を以て機械的にも堅牢なる此の種材料の裏付管等を最も經濟的に得んとする目的を以て、Cu, Fe, Al 若しくは是等含む合金より成る管の内面に Pb, Sb 若しくは其合金の裏付を施すに當り前記被加工物の内面を清淨ならしめ其の上に細分したる低温度鑛を練合したるペーストを塗布し豫め外径を前記被加工物の内径よりペースト練合物の厚さ丈け小さく作りたる裏付用金屬管を之に挿入し其の内部にローラーを挿入し被加工物の外部より加熱して鑛を熔融しつゝローラーを以て裏付管を擴張して餘分の鑛を壓出して前記被加工物の内面に裏付管を擴張と同時に鑛することより成る金屬管に鉛錫又は其の合金の裏付方法。

金屬板製造装置 (10年特許公告、第5,048號、公告10-12-2、大阪市、久保田權四郎) 原料金屬より直ちに定尺物金屬板を容易迅速に製造し得る装置を得んとする目的を以て、圓筒形金型を略水平位置に支承して高速度に廻轉する装置と前記金型内に其一端より他端に向ひ熔融金屬を注入する装置と該装置を金型に對し注入開始位置に引戻す間に形造せられたる金屬筒を引出す装置と金屬筒を金型より引出す間に其一側を縱斷展開する装置と展開せられたる金屬板を整形する装置とを結合して成る金屬板製造装置。

精鋼方法 (10年特許公告、第5,062號、公告10-12-2、佛國、ソシエテ、デレクトロシミー、デレクトロメタリユルジー、エ、デザシエリ、エレクトリック、デュジース) 簡單且迅速に粗鋼中の酸素以外の不純物を充分に除去せんとする目的を以て鋼中の酸素以外の不純物を吸収し得る成分を有し且高温度に熔融せらるゝ時甚だ高き流動性を有する鐵滓を豫め熔融状態に保持する第一工程と熔融せる粗鋼の猛烈なる流下勢力に依り前記鐵滓を微塵に粉碎し鋼と鐵滓とのエマルジョン混合態を生成せしむる第二工程との結合を特徴とする精鋼方法

鋼の脱酸方法 (10年特許公告、第5,063號、公告10-12-2、佛國、ソシエテ、デレクトロシミー、デレクトロメタリユルジー、エ、デザシエリ、エレクトリック、デュジース) 簡單且迅速に粗鋼中の酸素を充分に除去せんとする目的を以て、酸化銅を含有せずして鋼中に溶解せられたる酸素を吸収し得る成分を有し且高温度に熔融せらるゝ時甚高き流動性を有する鐵滓を豫め熔融状態に保持する第一工程と熔融せる粗鋼の猛烈なる流下勢力に依り前記熔融鐵滓を微塵に粉碎し鐵滓と粗鋼とのエマルジョン混合態を生成せしむる第二工程との結合を特徴とする鋼の脱酸方法。

酸化 Al の製法 (10年特許公告、第5,072號、公告10-12-2、埼玉縣、花岡善之他一名) 安價なる原料を使用し然も其内亞硫酸曹達亞硫酸ガス及炭酸 Mg は反覆利用し得るを以て粉炭及少量の炭酸曹達を要するのみにて Al_2O_3 を含む原鑛より容易に能率よく良質の Al_2O_3 を製する目的を以て、礬土、陶土、粘土又は明礬石の如き Al_2O_3 を含む物質の粉末に適當量の亞硫酸曹達及粉炭を混合し高温度にて焙焼してアルミン酸曹達となし同時に發生する亞硫酸ガスを回収使用する工程と次にアルミン酸曹達を熱湯にて浸出し之を炭酸 Mg 又は MgO 粉末と共に煮沸し濾過して含有する硅酸鹽を吸着除去する工程と此のアルミン酸曹達液に過剰の亞硫酸ガスを吸収せしめて酸性亞硫酸 Al と亞硫酸曹達との混合溶液を作り之を充分に煮沸して白色粉末状の水酸化 Al を沈澱せしめ同時に發生する亞硫酸ガス及液中の亞硫酸曹達を回収使用する工程と前記水酸化 Al の沈澱を薄き炭酸曹達溶液と共に煮沸水洗乾燥して亞硫酸を除去し酸化 Al となす工程との結合を特徴とする酸化 Al の製造方法。

金屬の鍛工温度に於ける粘性と近似の粘性を有する鍛工試験用材 (10年特許公告、第5,077號、公告10-12-4、東京市、堀岡米吉) 金屬材料に依る、試作に代へ地金取り及荒地の試験は素より鍛造後に於ける金屬の走り(フロー)の試験を簡便に行ひ得べき鍛工試験教育用の經濟的なる金屬代用品を得んとする目的を以て、生ゴムを主成分とし之に硫黃、植物性若は礦物性の粉末並に顔料を適當に添加すること等の手段に依り金屬の鍛工温度に於ける粘性と近似の粘性を有せしめたる物質の黒色のものを合せて斷面を正しき色別の層となしたる金屬の鍛工温度に於ける粘性の近似と粘性を有する鍛工試験用材。

鉛又は亞鉛鍍板に覆鉛する方法 (10年特許公告、第5,084號、公告10-12-4、東京市、東京製鋼株式會社) 熔融浸漬式鍍金板の導出瞬間に於ける保熱を利用し特殊の媒劑の作用に依りて其の片面又兩面に任意の厚さの鉛を全面一様に融着せしめ使用の際之に屈曲其他の加工を施すも決して剝離等の虞なき優良なる鉛被覆板を製造せんとする目的を以て、浸漬式鉛鍍金槽の上部に鉛板捲棒を設け適宜誘導棒を介して鉛鍍板と鉛板とを重合しつゝ加熱壓搾ロールに導致し該挾合面一様に媒劑を散布しつゝ加熱壓搾することを特徴とする。

鉛又は亜鉛鍍板に覆鉛する方法。

合板法による Mg 又は其の合金板の防蝕處理方法 (10年特許公告、第 5,097 號、公告 10-12-4、神戸市、株式会社神戸製鋼所) 合金板の機械的諸性質を改善し而も強固なる防蝕皮覆を簡易なる手段に依り經濟的に得んとする目的を以て、Mg 又は其合金板の表面を Al 又は同合金板を以て包装せしめ之を壓延機にて熱間壓延して癒着せしめ斯くて得たる所要の合板を 200~500°C に加熱する事の特徴とする合板法に依る Mg 又は同合金板の防蝕處理方法。

抱撚鋼索製造裝置 (10年特許公告、第 5,103 號、公告 10-12-4、大阪市、横山正太郎) 型線を整集板に通し整集し繰出し用轉子が圓陣をなせる構内に繰送し別に前記捲着裝置構内の中心部を貫通して回轉をなしながら一方に漸次移動すべく爲した核心鋼索の外周周上へ型線を螺旋狀に壓曲捲着せしめて抱撚鋼索を容易に製造し得せしむる目的を以て、適當なる構枠に多數の轉子 (6) を圓陣型狀に配列横設し該轉子は圓陣形狀を保持し同方向へ等速度に廻轉すべくしたる壓着裝置の側面に接近せる所に繰出し用一對の轉子を裝設し更に其の前面の位置に整集盤を具設してなる抱撚鋼索製造裝置。

合金 (10年特許公告、第 5,105 號、公告 10-12-4、京都市、井上友善) 熱處理に依りて硬化するを特徴とし金色を帯び硬度高き合金を得る目的を以て、金を主成分とし Ag 0.5~10%、Cd 0.5~5.0%、Ni 0.5~10%、Al 0.1~1.0% を含む合金。

熔融アルミナの製造方法 (10年特許公告、第 5,117 號、公告 10-12-6、東京市、財團法人理化學研究所) 多量の珪酸及酸化鐵を含有する粘土類又はボーキサイト、デアスポア若しくは夫等を含有する礬土質原料より Al_2O_3 の損出を少くして純度高き Al_2O_3 を得る目的を以て、粘土類又はボーキサイト、デアスポア若しくは夫等を含有する礬土質原料に鐵或は鐵礦石を加へ又は加へずして更に原料中に含有せらるる SiO_2 及 FeO を完全若しくは充分に Fe 及 Si に還元するには不十分なる程度に於て C を添加し電氣爐にて全部を熔融せしめ先づ原料中の SiO_2 及 FeO の大部分を Si 及 Fe に還元せしめて珪素鐵となし該珪素鐵と尙少量の SiO_2 及 FeO を殘存せる熔融 Al_2O_3 との二層に分離せしめ其の儘熔融を繼續しつゝ更に Al_2O_3 中に殘存せる上記少量の SiO_2 及 FeO を Si 及 Fe に還元するに充分なる分量の C を加へ更に Al 合金を加へ又は加へずして熔融し適量の Al 合金及炭化 Al を含有する熔融 Al_2O_3 を生成せしむる方法。

甲鉄製造法 (10年特許公告、第 5,183 號、公告 10-12-11、東京市、株式会社、日本製鋼所) 實彈射撃を行はざるに先立ちて甲鉄材質の適否を豫測し容易に之を改良し以て短時日に著しく僅少なる費用を以て優良なる甲鉄を製造し得んとする目的を以て、甲鉄の一片を試験片とし之と彈丸型の杵とを相互的に押壓しそれに要する荷重並に侵徹の深さを測定して材質試験を行ひ之に依りて甲鉄に用ふる成分延伸法並に熱處理法を改良し更に必要に應じ該試験法を反覆して其都度其成分延伸法及熱處理法を改良し以て甲鉄の材質を改良することよりなれる甲鉄の製造方法。

磨耗試験裝置 (10年特許公告、第 5,194 號、公告 10-12-11、東京市、鴛淵説男) ドレヂャー用バチット類其他土砂又は鑽石により不規則なる磨耗を受くる部分の各種材料の磨耗の比較試験を比較的簡易に行はんとする目的を以て、同一形狀に形成せる異種の數多の試験片を同一垂直軸上に關係的に廻轉する二個の水平盤中の上盤に等間隔を保ちて下方に向つて同一圓周上に突出固定し得る如くし之と相對向する位置に於て水平下盤に環狀水平溝を設けて所定量の土

砂、鑽石其他の抵抗材を收容し上記試験片を之れに突入せしめたる事の特徴とする磨耗試験裝置。

内燃機關用のクランク軸を鑄造する方法 (10年特許公告、第 5,211 號、公告 10-12-11、亞米利加合衆國、フォード、モーター、コムパニー) 鑄造法を以て特に多筒式内燃機關のクランク軸を正確且極めて經濟的に製造せんとする目的を以て、内燃機關のクランク軸を高き熔融點を有する鋼を材料として鑄造するに當り該クランク軸が鑄造溫度より大氣溫度迄冷却する際該クランク軸に生ずる歪曲に對し反對の方向へ該歪曲と同様な大きさに豫め該クランク軸の軸線を歪曲せしめて内燃機關のクランク軸を鑄造する方法。

硬質輕合金 (10年特許公告、第 5,214 號、公告 10-12-11、市川市、中山孝廉) 硬度高くして耐熱性に富める輕合金を容易且經濟的に得んとする目的を以て、Si 8~2%、Cu 2.5~8%、Mn 0.5~5%、Ni 0.5~3.5%、Cr 0.3~1.5%、Mg 0.4~3%、Fe 0.5~3%、殘部 Al を含有して成る硬質輕合金。

電弧銲接機 (10年特許公告、第 5,218 號、公告 10-12-13、亞米利加合衆國、ウイルソン、ウエルダー、エンド、メタルズ、コムパニー、インコーポレイテッド) 銲接速度大にして銲接部分に損傷を生ぜしめざる如き自動銲接機を得んとする目的を以て、複数の電極保持機を工作物に對して交互に該工作物の位置に或は前記工作物の位置より往復運動せしめ得べく裝置し前記電極保持器を運動せしむべき裝置に依つて一方の電極保持器が工作物に接近するに従つて他方の電極保持器を作用位置に移動せしめ此處に於て一方の電極保持器を不作用位置に上昇せしむべくしたる電弧銲接器。

酸化アルミニウムの結晶狀微粉製造法 (10年特許公告、第 5,226 號、公告 10-12-13、東京市、財團法人理化學研究所) 容易に銳利にして且つ微細なる研磨材料を提供する目的を以て、無定形 Al_2O_3 と金屬 Al との混合物或は無定形 Al_2O_3 と金屬 Al とを主成分とする混合物の一部を加熱して暗赤熱或は之に近き溫度に至らしめ該部分に亜鉛末、鹽化亜鉛、臭化亜鉛又は沃化亜鉛を添加し發火して全部を燃焼せしめ其生成物を摩碎、水簸、風篩等を行ふ事に依る Al_2O_3 の結晶狀微粉の製造法。

熱鋼片運搬臺車回轉裝置 (10年特許公告、第 5,306 號、公告 10-12-18、川崎市、日本鋼管株式会社) 特に高熱にせる鋼片を運搬する臺車を運行せしめ其中途任意の地點に於て自動的に半回轉せしめ再び次の操作に於ける位置に自動的に復歸せしめ之を反覆操作し得べくせる裝置を得んとする目的を以て、車體の上部に回轉臺を設け該回轉臺に取付けたる軸にロープ、プーレーを固着し該プーレーの一點にワイヤーロープの兩端を固着せしめ該ロープの牽引作用により前記車體を運行せしめ得べくし車體の側方に爪を設け該爪を回轉臺の一端に設けたる溝に懸らしめて回轉臺と車體とを一體に固定せしむべくし又は車體の側方に設けたる短杆と回轉臺を回轉せんとする位置に設けたるガイドとに依りて右爪を溝より離れしめて回轉臺と車體とを絶縁せしむべくし以て右回轉臺を任意の地點に於て半回轉せしむべく構成せる熱鋼片運搬臺車回轉裝置。

Al 又は其の合金の硬化法 (10年特許公告、第 5,334 號、公告 10-12-20、東京市、日本金屬工業株式会社) Al 又は其合金に C を容易に滲透化合せしめて Al の炭化物を生成し著しく高き硬度と優秀なる耐腐蝕性を附與し得しめんとする目的を以て、Al 又は其合金を夫等に酸化物を生ぜしめざる如き真空中に於て熔融したる後熔融狀態に於て鐵又は鐵合金に接觸せしめつゝ不飽和炭化水素瓦斯を觸れしむることを特徴とする Al 又は其合金の硬化法。

誘導電氣爐 (10年特許公告、第5,338號、公告10-12-20、東京市、株式會社芝浦製作所) 條片薄板及扁平材料並に管等の金屬製品を有効に加熱し得べき誘導電氣爐を得る目的を以て、一次起誘導線輪と該起誘導線輪内に置かれ該線輪の半徑方向に分割せられ且分割點に於て電氣的に絶縁せられて被熱材料を二次的誘導關係にて包圍する熱絶縁せる分割熔室とを具ふる誘導電氣爐。

含磷含バナテウム砂鐵よりバナテウムを收得する方法 (10年特許公告、第5,339號、公告10-12-20、大阪市、莊司市太郎) 含磷含V砂鐵より可及的多量にして且つ無磷のVを得んとする目的を以て、適當に粉碎せる含磷含V砂鐵粉を硫酸ソーダ食鹽又は兩者の混合物と共に880°C以上に熔燒したる後其の熔燒物より可溶性磷鹽と共に可溶性V鹽を抽出し其の抽出液に鹽化カルシウムを添加して先づP分を磷酸石灰として分別沈澱法に依りて分別することを特徴とし次に該除磷液より適當手段にてVを收得する方法。

合金鋼の鑢付用熔劑 (10年特許公告、第5,348號、公告10-12-20、東京市、三菱重工業株式會社) 合金鋼を眞鍮鑢、銀鑢等にて鑢付けするに際し低温にて酸化物其他の不純物を容易に除去せしめて鑢の鑢着力を強靱ならしめ被接合物を過熱して其の材質を害するが如き虞なからしめ能率よく容易に美麗且安價に鑢付けを行はしめ得べき熔劑を得んとする目的を以て、弗化加里の他にスラッグの熔融點を低く流動性を良好ならしむる鹽化物を旁成する如く弗化曹達、氷晶石、弗化石灰、弗化アムモニウム、弗化銀又は弗化鐵の如き弗化物と鹽化加里とを化學當量に於て配合し其の配合に依りて生ずる鹽化物及弗化加里の各一瓦當量に對し硼酸及硼砂の各約50gと適量の水とを添加して成る合金鋼の鑢付熔劑。

滲炭防止劑 (10年特許公告、第5,359號、公告10-12-23、東京市、三菱重工業株式會社) 容易に使用し得ると共に鐵、鋼中に滲透せんとする炭素を化學的並に物理的兩作用に依り確實に防止せんとする目的を以て還元性物質に依つて還元せられ易き銅鉛の酸化物の一種又は二種以上の混合物に低温に於て鐵鋼材の表面に作用して炭素の不滲透性皮膜を形成すべき硫黃、磷、亞鉛、Alの化合物或は合金の一種又は二種以上を配合し之に水硝子又は動植物性糊若しくは粘土水の如き固着劑を混合したる滲炭防止劑。

脆弱合金製造方法 (10年特許公告、第5,360號、公告10-12-23、亞米利加合衆國、インターナショナル、スタンダード、エレクトリック、コーポレーション) 裝飾線輪用壓粉心等に使用する脆弱合金の有効簡單なる製造方法を提供せんとする目的を以て、合金組成成分を熔融し豫定程度の酸化を得べく酸化劑を加へ次に知られたる量の還元劑を加ふることより成る脆弱合金製造方法。

甲鉄の延伸方法 (10年特許公告、第5,387號、公告10-12-23、東京市、株式會社日本製鋼所) 弾性限、抗張力、延伸率、絞立衝擊値に於て優秀なる甲鉄を得んとする目的を以て、甲鉄を製造するに當り之を延伸するに先立ち鋼塊を水壓鍛鍊機を以て其中心にある不良部を除くと共に之を鍛鍊し、然る後之を縦に割き擴げて平板となしローリングミルを以て所要の寸法に轉鍊延伸せしむる方法。

鐵材亞鉛鍍の際に生ずるフラックス滲り鹽化亞鉛の製造方法 (10年特許公告、第5,391號、公告10-12-24、大阪市、麻生友治) 原料の鹽酸溶液に電流を通ずることに依り原料自體の含有する物質相互間の反應、作用に依り夾雜物たる鐵分を沈澱分離せしめ以て低廉なる工業により鹽化亞鉛を得られしめんとする目的を以て、鐵材の乾式亞鉛鍍の際に生ずるフラックス滲りを鹽酸にて處理し之に電流を通じ鐵を水酸化物として除去する鹽化亞鉛の製造方法。

マグネシウム又は其合金の防蝕法 (10年特許公告、第5,428

號、公告10-12-27、東京市、江澤謙二郎他一名) 耐腐蝕性大なるMg又は其合金器物を得んとする目的を以て、Mg又は其合金の表面にCd, Sn, Zn, Alの内の一種又は二種以上を噴射鍍金する工程と更に之を前記各金屬とMgとの固相線以下に加熱する工程とより成るMg又は其合金の防蝕法。

硫化鑛燒滓より銅を除去する方法 (10年特許公告、第5,446號、公告10-12-27、東京市、向山幹夫) 廢棄に均しき鑛石燒滓を簡單なる手段に依り處理して經濟的に製鐵原料とし使用し得る低銅鐵化合物たらしむると同時に銅分をも有効に回収する目的を以て、銅を含有する鐵鑛の燒滓を硫酸アムモニウムを含有する酸性水溶液中に混じ加熱して銅分をアムモニウム醋鹽として溶解抽出し鐵分と分別することを特徴とする硫化鑛燒滓より銅を除去する方法。

ライナーを施せる輕合金若しくは輕金屬製氣筒 (10年特許公告、第5,456號、公告10-12-27、東京市、正田十吉) ライナーと輕合金若しくは輕金屬より成る部分との接續部を滲透擴散せしめて堅密に熔着し以て氣筒の冷却効果を増進し重量を輕減し且加工過程を簡略ならしむる目的を以て、鐵合金或は銅合金其他適當なる金屬より成る氣筒ライナーの外側に擴散操作に依り薄き擴散層を生成したる後ライナー以外の輕合金若しくは輕金屬より成る氣筒部分を所要の形に鑄造しライナーと其の他の部分とを顯微鏡組織的に一體となし氣筒を構成せしむる點を特徴とするライナーを施せる輕合金若しくは輕金屬製氣筒。

特許拔萃

特許 番號	名 稱	特 許 權 者	公告拔萃掲載 本誌番號
112,882	石炭燃焼補助劑	中 安 正 義	なし
112,917	耐蝕性高 Al 合金	海 軍 大 臣	第 21 年 8 號
112,930	家庭用に適せる成型木炭の製造方法		
112,934	自動車發動機又は軌道機關車のガソリン代用燃料として好適する加工炭の製造方法	辻 行 雄	なし
112,977	亞酸化銅整流機用銅板の製造方法	株式會社 芝浦製作所	なし
112,989	石炭類乾餾に於ける高熱物質消火裝置	關 外 一 名	第 21 年 8 號
113,038	爐の燃焼調整裝置	エル、エフ、テ、 フオンドリ	第 21 年 8 號
113,044	硅 Ni 鑛の濕式精煉法	小 松 原 久 治	第 21 年 6 號
113,064	金屬處理法	日本金屬工業株式會社	第 21 年 8 號
113,071	爆發機關用減爆音燃料の製造法	ソシエタ、アノニ マ、カービュラン チ、イタリヤ	第 21 年 8 號
113,072	銅基合金	磐城炭鑛株式會社	第 21 年 5 號
113,108	Al 合金	邦 須 敏 之	第 21 年 8 號
113,123	Co 工具鋼の熱成方法	株式會社神戸製鋼所	第 21 年 8 號
113,141	燒成爐より出づる豆炭の連續式消火冷却裝置	若 田 虎 三 郎	なし
113,146	硬質金屬薄板製造方法	株式會社川西機械製作所	第 21 年 9 號
113,160	整流器用酸化銅皮膜生成方法	株式會社島津製作所	第 21 年 8 號
113,174	石炭低温乾餾爐	燃 料 研 究 所 長	第 21 年 7 號
113,189	鐵、Ni, Al 型永久磁石合金の處理方法	三 島 德 七	第 21 年 8 號
113,190	鐵、Ni, Al 型永久磁石合金の處理方法	三 島 德 七	第 21 年 8 號
113,231	石炭及煉炭の製造方法	小 野 澤 辰 五 郎	なし
113,296	砒化及び砒硫化 Ni 鑛の熔鑛法	小 室 靜 夫	第 21 年 7 號
113,308	灼熱用堅爐の連續的排出裝置	山 崎 長 七	なし
113,344	被鉛法の改良	橫濱護謨製造株式會社	第 21 年 9 號
113,378	耐酸耐熱性鑄鐵	三菱重工業株式會社	第 21 年 6 號